

# ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2023年3月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下上柳町199  
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-371-6171  
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp



## 蓮ちゃん通信 その①

### 誕生児念珠が 新しくなりました!



慶讃法要を機縁としてリニューアルを進めていた「誕生児念珠」がついに新しくなりました。念珠の紐も万一、赤ちゃんがなめても安全な素材へと変更し、葉のメッセージも新しくしました。また、パッケージの折りを簡単にし、お念珠入れとして繰り返し使えるデザインに変更しました。

ぜひ、初参式などでご活用いただき、新しい出会いのきっかけとなることを願っています。

お求めは、お近くの教務所までお問い合わせください。



## お念仏の道を歩む

お ば ち ひ で か す  
青少年センター長 尾畑 英和

私が住職を継いで25年、夏休みには毎年欠かさず、地域の子どもたちと正信偈のお勤めの練習をしてきました。この間、新型コロナウイルス感染症の影響で、お寺に集まることが難しくなり、出会いの場が奪われたことは残念ではありません。ともに語りあう場が早く再開できることを願うばかりです。

いよいよ慶讃法要をお迎えします。私にとっての立教開宗の意味を問いつつ、あらためて次の世代を生きる青少年に大切なことを伝えていきたいと思えます。

「念仏者は無碍の一道なり」(歎異抄)

ともに悩み、ともに歩むことを願いとし、前に生まれたものとして、後を生きる子どもたちに、私たちはいったい何ができるでしょうか。それは、「念仏の教えをよりどころとして生きてほしい」というたった一つの「願い、をつなぐこと」でないかと思えます。子どもたちへの押し付けでなく、子どもたちと同じ目線で語り合い、宗祖が歩まれたお念仏の道をいっしょに歩いていきたいと思っています。

# 安心して悩める場所なや

山陽教区 教泉寺  
西堀 秀行にしほり ひでゆき

## 「みんな」の中を生きているわたし

わたしたちは「みんな」の中を生き  
ています。学校のみんな、クラブや部  
活のみんな、塾のみんな。大人になる  
と会社のみんな、地域のみんな、趣味  
のみんな。わたしたちは必ずどこかの  
「みんな」の中でしか生きられないよう  
になっていきます。みんなの中にと  
りあえず安心します。みんなの外で  
一人ぼっちで生きるのは心細くて仕方  
ありません。だからみんなの中でい  
ようとします。その「みんな」の中  
にいるときにこんなことを言われたこと  
はありませんか。

「あなたのせいでみんな困っているよ。」  
「みんなあなたのことをおかしいと言  
っているよ。」

わたしはこういふことを言われたこと  
があります。するととても悲しい気持  
ちになったのを覚えています。本当  
に悲しくてもう消えてしまいたいと思  
うほどでした。そしてみんなの中にい  
られなくなるかもしれないと、とても  
恐くなりました。それから一生懸命  
考えて、みんなに「あなたのせいで困  
っている」と言われないように気をつ  
けました。はじめはしんどかったです。

どうすればみんなに嫌われないか、だ  
んだんわかるようになってきて、もう  
恐くなくなってきました。するとある  
時、わたしはある人にこんな言葉を言  
っていました。「あなたのせいでみんな  
めいわくしているよ。」

お釈迦さまも「みんな」の中を生き  
ていました。国の王子さまだったので  
「王国のみんな」の中を生きていまし  
た。親鸞聖人も9歳で仏教の学校に入っ  
たので「仏教のみんな」の中を生きてい  
ました。お釈迦さまも親鸞聖人もその



## 子どもたちと聞く法話

みんなの中で悩みました。みんなの中  
にいないと不安でしかたがない。だけ  
どみんなの中に慣れると「みんな」と  
同じになって、みんなとちよつと違う  
誰かを「おかしい」と言つてとても悲  
しい気持ちにさせてしまいます。一体  
どうしたらいいのか全然わからず、す  
ごく悩んだのだと思います。なんとお  
釈迦さまは自分の王国から出てしてし  
まうほど悩みました。親鸞聖人も、20  
年も通った仏教の学校をやめてしま  
うほど悩みました。

### 「人間の悩み」との出会い

少し話が変わります。わたしが小学  
生のときにおじいちゃんが交通事故で  
亡くなりました。最初は「死ぬ」とい  
うことがよく分かってなかったわたし  
は、そのうちおじいちゃんは復活する  
だろうと思っていました。でもおじい  
ちゃんは復活しませんでした。「死ぬ」  
ということとはもう会えないのだと知っ  
たとき、いつか自分も死ぬんだ、お父  
さんやお母さんもいつか死んで見えな  
くなるんだと悲しくなって涙が止まら  
なくなったときがありました。

いつか必ず死ぬ、この人生の中で一  
体何をしたらいいのだろう。どうせ死  
んでしまふのになんのために生きてい  
るのだろう。どうやったら本当に安心  
できるのだろう。お釈迦さまの悩みは、

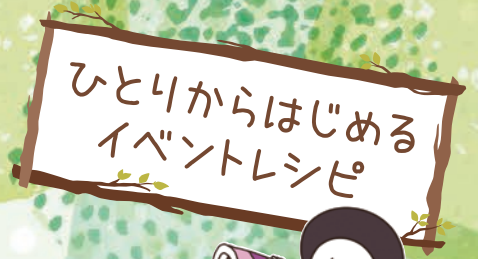
家を出したときから「人間の悩み」に  
なりました。親鸞聖人も仏教の学校を  
やめてお釈迦さまと同じ「人間の悩み」  
に出会いました。みんなの中で生きて  
いるときはその「人間の悩み」になか  
なか会うことができません。みんな  
の中で嫌われないように生きること  
に一生懸命だからです。そんなことに悩  
んでいることがバシラたらまた、「みんな  
と違う」と仲間外れにされるのが恐  
ろしいから悩まないようにするのです。

### 「ありがとう」の慶讃お祝い

「みんなに嫌われたらどうしよう」と  
いう悩みはつらくてしんどい悩みです。  
でも、わたしたちは何のために生まれ  
てどう生きるのかという「人間の悩み」  
は、じつはみんなが求めている悩みで  
す。本当に悩まないといけないものは  
こっちだったんだと、お釈迦さまや親  
鸞聖人が「みんなの中」をぬけてまで  
悩み続けてくれたことよって、同じ  
思いを持っていたたくさんの人々が安  
心してその悩みに出会うことができる  
ようになりました。お釈迦さまは25  
00年も前に、親鸞聖人は800年も  
前に、安心して「人間の悩み」を悩ん  
でいける場所を未来のわたしたちのた  
めに見つけてくれたのです。そのこと  
がうれしくてたまらないから「ありが  
とう」と言いたい！そのことを慶讃  
（お祝い）しています。



拾った石に絵を描こう!!



# 石ころアート

## 用意するもの

- すてきなカタチの石
- 絵を描く時に敷くもの (段ボールや新聞紙)
- アクリル絵の具・ふで

クレヨン・マジックも  
おすすめ



- 汚れてもいい服装で!
- 人の家の石を勝手にとっていかないでね!

## 事前にとすること

- 1 石を拾ってくる。
- 2 石をよく洗い、しっかり乾かす。



石に絵を描こう!!

## ポイント

ペイントしやすいのは  
表面がボコボコしていない石



だけど

イメージがふくらむ  
気に入った石が1番!!

他には...

石と石をこすると...  
こげたニオイがするよ!

暗いところで石と石を  
火うち石のようにカチカチたたくと...  
ピカッと光るよ! ✨

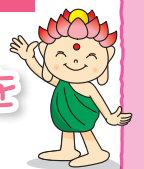
石が  
たくさん  
あれば...

ロックバランス!  
石のバランスだけで  
石を積み上げていくよ!



## 蓮ちゃん通信 その②

ほとけの子リーフレットNo.3  
『親鸞聖人-出家-』を  
発行しました!!



慶讃法要を機縁にリニューアルを進めているほとけの子リーフレット。『聖徳太子』、『花まつり』に続き、『親鸞聖人-出家-』が完成しました。親鸞聖人の「出家」をテーマに、中面ではあきらめることなく歩まれた聖人の姿に訪ね、裏面には誕生から出家までの歴史をピックアップして掲載。『親鸞聖人』はシリーズとして今後も引き続き発行予定です。

青少年センターまたは最寄りの教務所でお求めいただけます。(無償)

※リーフレットはA6サイズ(A5二つ折り)



# 「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに  
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が伝えてくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

## しんらんしょうにん たんじょう 親鸞聖人のお誕生

親鸞聖人は京都でお誕生されました。京都は山に囲まれた盆地です。東南の方向に醍醐山があり、その麓には日野の里があります。この日野の里に日野有範さまと吉光女さまが暮らしておりました。吉光女さまは長くお子さんがなく、お子さんの誕生を待ち望んでいらっしゃいました。ある日の夢に菩薩さまが、五葉の松の木の枝を手に「あなたの願いをかなえ子どもを授けよう、その子に松を名前にせよ」とお告げになりました。

そして、1173(承安3)年4月1日に赤ちゃんがお誕生されました。菩薩さまが「その子に松を名前にせよ」とお告げでしたから幼いときのお名前は松若磨さまでした。松若磨さまが8歳のとき吉光女さまが亡くなられ死別されたと伝えられています。その後伯父範綱さまの養子となります。1182(養和元)年の9歳のとき、青蓮院でお坊様になるために得度をされました。

出典：幡谷淳信(教材)「親鸞聖人伝」  
『児童と宗教』第1巻第2～4号より一部抜粋、現代語訳  
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さ が え な つ み  
佐賀枝 夏文  
(大谷大学名誉教授)

わたしたちの大好きな親鸞さまがお誕生されてから850年になります。お誕生された場所は京都醍醐の日野の里というところですよ。また、9歳にお坊様になる得度をされたことを知ると、より身近にいらっしゃることわかるかもしれませんね。

## コーナーの活用例

- ④ 本文「親鸞聖人のお誕生」をそのまま覚えて話す。または、ご自身の表現で話す。
  - ④ プリントして配布し、朗読する。
- 上記以外にもその場に合わせてご活用ください!

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎お釈迦さま、親鸞さまが探し、たずね、求めたものは国を時代を超えて、人と生まれた者すべてに通ずるものです。これからは生きる小さな人と、そのことをどのように聞いていくのか。「御誕生」を想う春、そして新学期に改めて考えてみたいと思います。

(編集長 池崎方子)

◎親鸞聖人が誕生されて850年の節目の年を迎えています。

人の誕生を慶び、讃める機会をいただくというのは、日頃の自分本位な生活から振り返ると本当に稀な機会であると思います。そして、誕生に眼を向けよう(ご)ことは、私の誕生の深い歴史的背景に気づいていくことだと親鸞聖人の教えを通じて知らされます。

(青少年センター主幹 藤間哲祐)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。  
<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>  
※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440



青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!